

6/23 (木) 9時定例レク概要 (福島地域支援室)

東京電力株式会社

<説明内容>

①プラント関連パラメータ (6月23日 6:00現在) 【口頭説明】

②プラント状況、本日の作業予定について【口頭説明】

○水処理装置について

- ・ヨウ素除去用スキッドの線量高の原因は弁表示の誤り
- ・セシウム除去用スキッドの弁の1つが「閉」であるべきところ
実際は「開」となっていた。
- ・3つのベッセルがバイパスされ1つのベッセルのみで、セシウムが
うまく除去されていなかった。
- ・0:43、通水試験再開。

<1号機>

- 原子炉への給水系ラインからの淡水の注入について
- T/B地下水位について
- 格納容器への窒素封入について
- SFP代替冷却設備設置について
- R/B地下階の水位について
- 建屋カバー設置工事について
- ・クローラークレーン組み立て作業継続

<2号機>

- 原子炉への給水系ラインからの淡水の注入について
- 原子炉建屋環境改善について
- ・計器校正、N2封入用配管の格納容器封入ラインへの接続
- トレンチ立坑、T/B地下階の水位について

<3号機>

- 原子炉への給水系ラインからの淡水の注入について
- SFP代替冷却浄化系の設置について
- トレンチ立坑、T/B地下階の水位について
- 窒素封入、代替冷却設備設置のためのR/B1階のガレキ撤去
について

<4号機>

- SFPへの放水について
- 原子炉ウェル・DSピットへの注水(水張り)について
- T/B地下階の水位について
- SFP底部支持構造物設置工事について

<6号機>

- T/Bから仮設タンクへの移送について
- ・本日移送なし

<集中廃棄物処理施設>

- プロセス主建屋の水位について
- 雑固体容廃棄物減容処理建屋の水位について

<その他>

- 循環型海水浄化装置について
- 飛散防止剤の散布について(有人、リモート車両)
- リモートコントロール重機によるガレキ撤去について
- 港湾関連施設の改修工事について
- 大型タンク設置作業について

<主な質疑>

- Q. 水処理装置の停止原因の詳細は。
- A. セシウム除去用スキッドの4ラインあるうちの1ラインの弁に不具合があった。

その中で3つのベッセルを通る所を1つしか通らず除去処理がなされていなかった。

- Q. 弁の動きがおかしかったというが、前回の試験では問題なかったが。
- A. 今回、弁の表示誤りを発見した。

- Q. 弁がおかしかったのはどこか。
- A. 1つの弁がおかしかった。(図で説明)

- Q. ヨウ素除去用スキッドの線量はどれ位か。
- A. 8~15mSv/h。

- Q. 弁の開閉を間違えたのか。

- A. 弁の開閉の表示が違っていた。
- Q. ヨウ素除去用スキッドは交換したのか。
A. していない。本来は1年大丈夫なため、今回原因が判明したことから今後は線量が上がることはないと思われるが、今後の対応について検討している。
- Q. 1つのベッセルごとに流量は見られないのか。
A. ベッセルそれぞれに流量計が付いているわけではないため分からない。
- Q. 3号機原子炉への注水量を変更した時間は。
A. 10:00頃
- Q. 2号機の差圧計の水張りの時間は。
A. 午前中だが詳細な時間までは確認できていない。
- Q. セシウム除去用スキッドの取替で残りの2つも取り替えたのか。
A. 取り替えた。

以上

情報共有

官邸班, NISA班 ← フォルダ対応
と NISA 分室にお渡し済み

(1枚 = 非管理用)

新規テキスト ドキュメント.txt

各位

東京電力株式会社

福島での本日のマスコミ対応について情報共有いたします。
(11時~)

以下、転送。

=====
6/23 (木) 11時15分臨時レク概要

<説明内容>

- ①セシウム除去装置装置概略系統図 (H4スキッド弁の状態) 【資料配付】
- ②福島第一原子力発電所2号機原子炉建屋1階【写真配付】
- ③福島第一原子力発電所2号機原子炉建屋西側【写真配付】

<主な質疑>

- Q. 弁が開いてしまったルートは吸着塔を取り替える際に使うルートなのか。
A. 3つのルートの内1つを除外 (ルート変更) するためにある。
- Q. 開けていた弁は表示が誤っていたのか。
A. その通り。
- Q. なぜ、H1の2つ目のベッセルを替えるのか。
A. 当該のベッセルの線量が上がっているためと思われる。
- Q. 表示誤りの表記は英語か、日本語か、記号なのか。
A. 英語と思われる。
- Q. 試運転はいつまでになるのか。
A. 今はまだ分からない。

以上

情報共有
(1枚)

有償支援費 15時定例レク
(非管理XE).

宮城班
Nisa班

アレス対応TM

新規テキスト ドキュメント.txt

各位

福島での本日のマスコミ対応について情報共有いたします。
(15時~)

東京電力株式会社

以下、転送。

=====
6/23 (木) 15時定例レク概要

<説明内容>

- ①福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ
(6月23日 午前10時現在)【資料配付】
- ②プラント関連パラメータ
(6月23日 12:00現在)【口頭説明】
- ③プラント状況、本日の作業状況について【口頭説明】
 - 水処理装置について
 - ・予一夕採取のため、13:00停止。
 - ・その後、フラッシング。14:44再起動。
 - ・H1-2のベッセルを交換予定。
 - 2号機R/B環境改善関連について
 - ・水位計への水張りを実施。(10:35~12:36)
 - ・N2封入配管の敷設を実施。(11:38~12:05)
 - 4号機原子炉ウエル・DSピットへの水張りについて
 - ・9:32~実施。
 - 4号機SFPへの代替注水設備による注水について
 - ・本日、実施予定。

<主な質疑>

- Q. 2UN2封入の配管敷設後、(封入開始まで)どのような課程を踏むのか?
- A. 昨日の報告徴収を受けての報告書提出、および、関係各所への説明を実施する予定。
- Q. 今日中に関係各所への説明を終える予定はあるのか?
- A. 報告期限は6/24。期限までに報告書を提出し、国の評価を受けたのちに、関係各所への説明を行う。
- Q. 交換するベッセル(H1-2)があるラインの、SMZの箇所は、水ベッセル・シリカサンドのどちらがあるのか?
- A. 水ベッセル。

以上

(2枚)

非管理メモ

* NISA対応室にお渡し済み

福島地域支援室定例記者レク概要 (6/23 (木) 20時)

<説明内容>

① 福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ (6月23日 午後3時現在)

【資料配付】

② プラント関連パラメータ (6月23日 18:00現在) 【口頭説明】

③ 福島第一原子力発電所敷地内における空気中の放射性物質の核種分析の結果について (第九十報)

福島第一原子力発電所付近の海水からの放射性物質の検出について (第九十二報)

福島第一原子力発電所取水口付近で採取した海水中に含まれる放射性物質の核種分析の結果について (6月22日採取分)

福島第一原子力発電所タービン建屋付近のサブドレンからの放射性物質の検出について

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果福島第一原子力発電所沖合における海底土の放射性物質の核種分析の結果について (続報2)

【全て資料配付】

④ 福島第一 原子炉建屋内における空気中放射性物質の核種分析結果 【資料配付】

⑤ 福島第一原子力発電所の状況 【資料配付】

⑥ プラント状況、本日の作業予定について 【口頭説明】

◇ T/B 地下階たまり水の水位 (本日 17:00)

・ 1 u op4,920mm ・ 2 u op3,721mm ・ 3 u op3,831mm ・ 4 u op3,835mm

◇ トレンチ立坑の水位 (op4,000mm から 本日 17:00)

・ 1 u D/S ・ 2 u -267mm ・ 3 u -135mm

◇ R/B 地下階たまり水の水位 (本日 17:00) ・ 1 u op4,482mm

◇ プラント毎

< 1 u > ○ N2 封入について ○ SFP 代替冷却設備の設置工事について

○ 建屋カバー設置工事について

・ 本日期限の報告書については、明日、準備ができ次第、お知らせ。

< 2 u > ○ 原子炉建屋環境改善について ・ N2 封入ラインの敷設について。

○ R/B ダストサンプリングについて

・ 明日、THawk によるダストサンプルを実施予定。

・ 東側、ブローアウトパネル開口部付近にて。

< 3 u > ○ SFP 代替冷却装置設置について

○ R/B のガレキ撤去について

< 4 u > ○ 原子炉ウェル・DSピットへの水張りについて

・ 9:32~15:29 約160トン。

○ SFP 底部支持構造物設置工事について

○ SFP への注水について

<集中RW> ○プロセス主建屋の水位について ・op4,799mm。
○雑固体容廃棄物減容処理建屋の水位について ・op3,045mm。

【その他】 ○循環型海水浄化装置について ○飛散防止剤の散布について
○リモートコントロール重機によるガレキ撤去について
○大型タンク設置作業について
○水処理装置について
・14:44再起動以降、新たな情報・連絡はない。
○2F1u2uチェックポイントにおける協力企業職員の負傷

<主な質疑>

- Q. 海底土のPuは、過去測定値の範囲内とのことだが、今回検出したものの由来は、核実験か？発電所か？
- A. どの由来かは、238と239、240の比率を見て評価する。今回は、238が検出限界未満であったため、(何の由来のものか)評価できない。
- Q. データ採取のために13時停止したとのことだが、何か知らせてもらえるデータがあるか？
- A. (基本的に) SMZスキッド種類やHスキッドの運用などを検討するために通水試験を実施している。(よって、その都度、お示しするためのデータではない。) 今晚、サンプリングを行い、DFが得られる予定。明日にでもお知らせできる見込み。
- Q. 弁開閉状態を正常にした結果、AGHの線量データは、どうだった(どう変化した)のか？
- A. 現時点で、情報・連絡を受けていない。
- Q. SMZの方針(種類)は、どうするのか？明日にも決まるのか？
- A. 現在、通水試験を行い、基準・運用を検討しているところ。あと数回は、試験を行うと聞いている。よって、「明日」というのは、難しいと思う。
- Q. 通水試験においても、実質、水処理を実施しているわけだが、現在までに何トン程度処理したのか？
- A. 本日7時時点で2,125トン。よって、17時時点では、おおよそ2,500トン程度になると思われる。

以上